

# めざせドラムマスター🥁 (ユニバーサルデザイン版)

## 1 譜面のルール

**クラッシュシンバル**  
◆ ななめの四角がクラッシュ

**ハイハットシンバル**  
✕ 叩く場合✕  
✕ 足で踏んでならず場合✕

**スネアドラム**  
● 一番よく叩くタイコ

**ドラマーが座るところはココ**  
👤

**タムタム**  
◐ 上にあるタイコなので、上向きの半円

**ライドシンバル**  
✕ 3本線があるのがライドシンバル

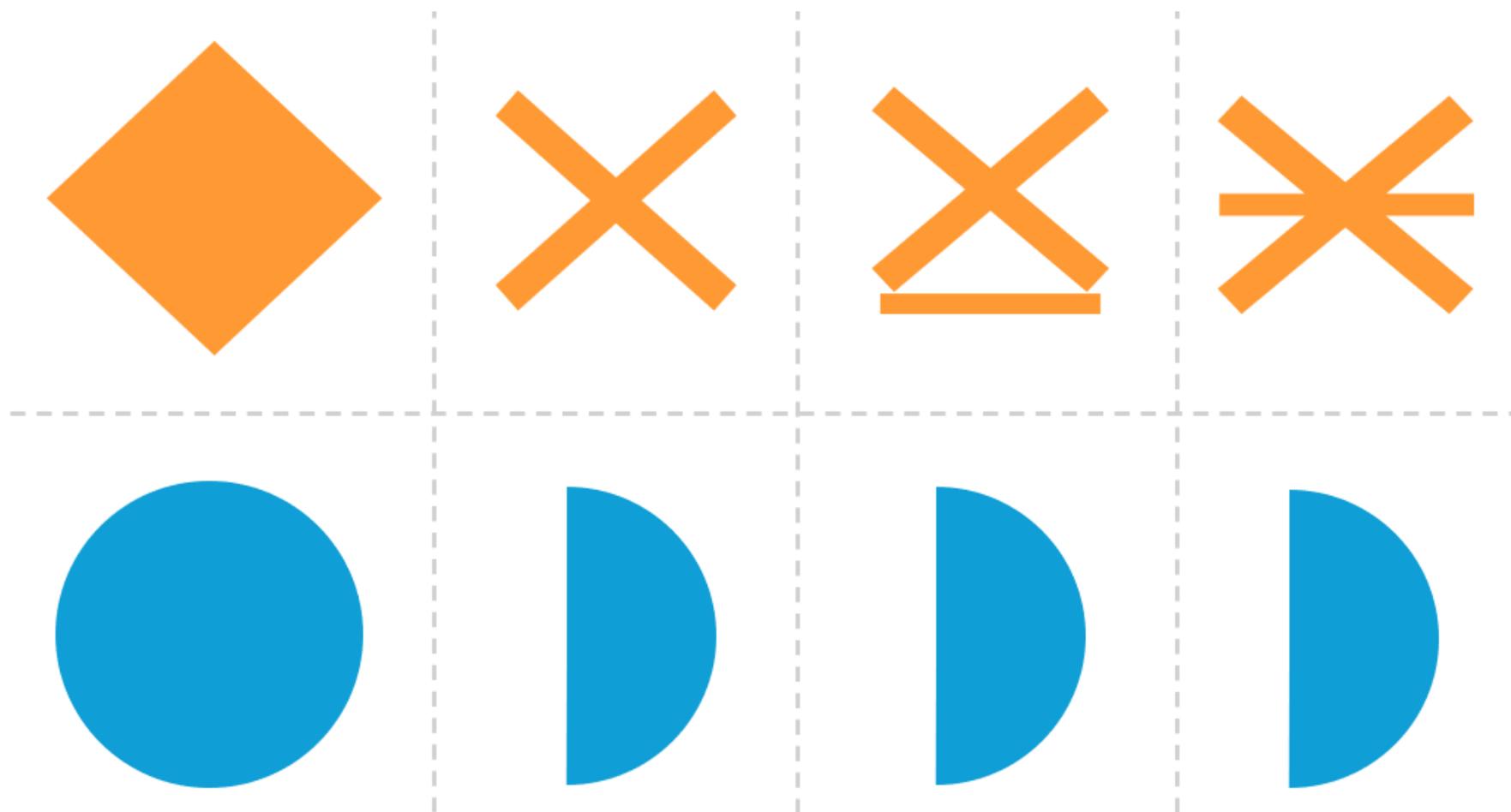
**フロアタム**  
◐ 右にあるタイコなので、右向きの半円

**バスドラム**  
◑ 下にあるタイコなので、下向きの半円

自宅で練習する場合は、クッションや雑誌を並べてドラムに見立てて叩いてみましょう。

下の紙を印刷して、クッションや雑誌に貼ると分かりやすいです。

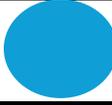
並べ方のポイントとしては、シンバルは太鼓よりも高い位置にあった方がやりやすいですよ。



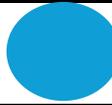
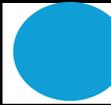
## 2 リズムを叩いてみよう

### (ア) シンプルなビート

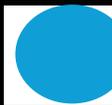
口でカウントを言いながら叩いてみましょう。

右手				
左手				
足				
カウント	1	2	3	4

### (イ) エイトビート①

右手								
左手								
足								
	1	と	2	と	3	と	4	と

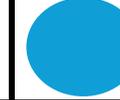
### (ウ) エイトビート②

							
							
							
1	と	2	と	3	と	4	と

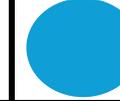
(エ) エイトビート③

							
							
							
1	と	2	と	3	と	4	と

(オ) エイトビート④

							
							
							
1	と	2	と	3	と	4	と

(カ) エイトビート⑤

							
							
							
1	と	2	と	3	と	4	と

(キ) エイトビート⑥

×	×	×	×	×	×	×	×
						●	
∩			∩		∩		
1	と	2	と	3	と	4	と

(ク) エイトビート⑦

長いので、難しいです。焦らずにゆっくりと何度も練習してみてください。

×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		●				●				●				●	
∩				∩	∩		∩			∩	∩				
1	と	2	と	3	と	4	と	1	と	2	と	3	と	4	と

(ケ) 16ビート入門

右左交互に叩いてみましょう。

×	×	×	×		×	×	×
				●			
右	左	右	左	右	左	右	左
1	2	3	4	5	6	7	8

(コ) 16ビート入門②

音が抜けた場合はこうやります。音がないところはちゃんと休むのも大事。

×		×	×			×	×
				●			
右	左	右	左	右	左	右	左
1	2	3	4	5	6	7	8

(サ) 16ビート①

エイトビートとはカウントのやり方が違います。

×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×
				●									●		
∩				∩				∩				∩			
い	ち	と	お	に	い	と	お	さ	ん	と	お	し	い	と	お

(シ) 16ビート②

×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×
				●									●		
∩								∩							
い	ち	と	お	に	い	と	お	さ	ん	と	お	し	い	と	お

(ス) 16ビート③

×		×	×			×	×	×		×	×			×	×
				●								●			
∩								∩							
い	ち	と	お	に	い	と	お	さ	ん	と	お	し	い	と	お

(セ) 16ビート④

×		×	×			×	×	×		×	×			×	×
				●								●			
∩								∩	∩						
い	ち	と	お	に	い	と	お	さ	ん	と	お	し	い	と	お

(ソ) 4ビート①

フォービートはジャズのリズム。右手でライドシンバルを叩いてハイハットを左足で踏みます。新しいリズムの数え方も覚えましょう。

右手	×			×			×			×		
左足				×						×		
	い	ち	と	に	い	と	さ	ん	と	し	い	と

(タ) 4ビート②

こういうリズムを**スイング**といいます。

い	ち	と	に	い	と	さ	ん	と	し	い	と

(チ) 4ビート③

スネアも入ます。

右手												
左手												
左足												
	い	ち	と	に	い	と	さ	ん	と	し	い	と

(ツ) 4ビート④

バスドラムも入れます。手足全部使ってますね！

右手												
左手												
右足												
左足												
	い	ち	と	に	い	と	さ	ん	と	し	い	と

### 3 フィルインを叩いてみよう

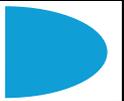
#### (ア) シンプルなフィルイン

フィルインでは手を交互に動かします。

手					
足					
カウント	1	2	3	4	5

#### (イ) 休符（休む音）を練習するフィルイン

休みの時は「空中を叩くふりをする」もしくは「口でカウント歌って、そのカウントに手の動きを合わせる」とやりやすいです。休符を演奏するつもりで。

手					
足					
カウント	1	2	3	4	5

#### (ウ) エイトビートでシンバルを叩く練習

右手								
左手								
足								
	1	と	2	と	3	と	4	と

(エ) エイトビートに合わせたフィルイン

色んな太鼓を連続して鳴らすのを**タム回し**って呼びます。

これは手を交互に動かします。

								
								
1	と	2	と	3	と	4	と	1

(オ) エイトビートと8分音符のフィルインを交互に演奏

エイトビートの時は、右手がシンバル、左手がスネアドラム。

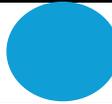
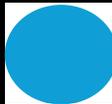
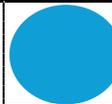
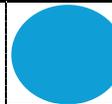
フィルインの時は両手を使って、右左交互に太鼓を叩きます。足はお休み。

下の2つをつなげて何度もやってみましょう。

右手								
左手								
足								
	1	と	2	と	3	と	4	と

手								
	1	と	2	と	3	と	4	と

上の譜面を1つにつなげて、よくあるドラム譜面のようなレイアウトにしてみるとこんな感じになります。

エイトビート								フィルイン							
															
															
															
															
															
1	と	2	と	3	と	4	と	1	と	2	と	3	と	4	と

ドラム譜面だと、どこの段に●や×があるかで楽器が変わります。

参考までに実際の譜面も載せるので、どこがどう対応しているのか見てみてくださいね。



(カ) エイトビートと16分音符のフィルインを交互に演奏

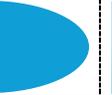
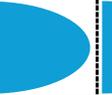
エイトビートの時は、右手がシンバル、左手がスネアドラム。

フィルインの時は両手を使って、右左交互に太鼓を叩きます。足はお休み。

フィルインがさっきの2倍の音の数になります。

下の2つをつなげて何度もやってみましょう。

右手								
左手								
足								
	1	と	2	と	3	と	4	と

手																
	い	ち	と	お	に	い	と	お	さ	ん	と	お	し	い	と	お

上の譜面を1つにつなげて、よくあるドラム譜面のようなレイアウトにしてみるとこうなります。結構細かいですね。

エイトビート								フィルイン													
1	と	2	と	3	と	4	と	い	ち	と	お	に	い	と	お	さん	と	お	しい	と	お

参考までに実際の譜面も載せるので、どの音がどう対応しているのか見てみてくださいね。

